

健幸都市インデックス（SWCバリュー）による評価

◎健幸都市の総合評価であるSWCバリューの**2.0星**（満点3つ星/前年：1.5星）を見附市が獲得し、10月に開催するSWC首長研究会で表彰を行います。

◎総合得点は**6.1点**（10点満点/前年5.8点）でした。



【健幸都市インデックスとは】

- 自治体の健康施策の成果を客観的データから分析し星取り数で表示するものです。
- 今年度の基データは**平成30年度**に実施した成果となります。（1年遅れの評価）

【健幸都市インデックスの構成】

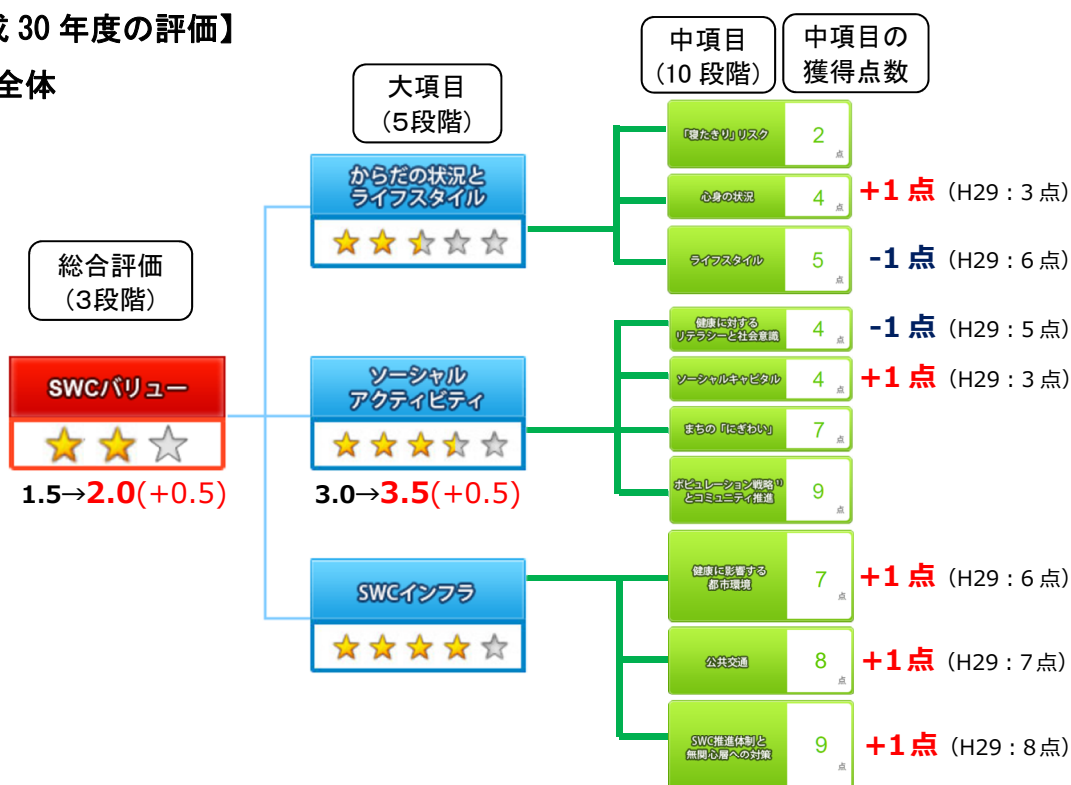
- 大項目（3項目）－中項目（10項目）－小項目（28項目）で構成し、それぞれの項目に対し重要度に応じた評価のための重み付けが行われ、点数が算出されています。
- 「SWCバリュー」は、6段階評価で☆（最高点は☆☆☆）の数で表され、健幸なまちづくりが総合的・客観的に評価されるものです。

【健幸都市インデックスの評価】

- 見附市が**2.0星**を獲得した他、岩手県遠野市が1.0星、京都府八幡市が1.0星を獲得し、SWC首長研究会で表彰を行います。

【平成30年度の評価】

① 全体



② 総合評価

総合得点が前年度より 0.3 点増加し、総合評価は 2.0 星（最高は 3 星）の評価を得ています。

総合評価（最高☆3個）	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R5年度 目標
SWCバリュー（☆の数）	1.5	1.5	1.5	2.0	3.0

③ 大項目の評価

「からだの状況とライフスタイル」と「SWC インフラ」の得点は前年度より維持され、「ソーシャルアクティビティ（+0.5）」は向上しました。

大項目の評価（最高☆5個）	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R5年度 目標
1. からだの状況とライフスタイル	3.0	2.5	2.5	2.5	4.5
2. ソーシャルアクティビティ	3.0	3.0	3.0	3.5	5.0
3. SWC インフラ	3.5	3.5	4.0	4.0	5.0

④ 中項目の評価

「ライフスタイル（-1）」、「健幸に対するリテラシー（-1）」が低下、「心身の状況（+1）」「ソーシャルキャピタル（+1）」、「健康に影響する都市環境（+1）」、「公共交通（+1）」、「SWC 推進体制と無関心層への対策（+1）」が向上しました。

中項目の評価（満点10点）	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R5年度 目標
1. からだの状況とライフスタイル：施策により結果的に変化する指標					
1-1. 寝たきりリスク	3	3	2	2	9
1-2. 心身の状況	3	3	3	4	9
1-3. ライフスタイル	7	6	6	5	9
2. ソーシャルアクティビティ：施策が直接的に影響する指標					
2-1. 健幸に対するリテラシー	5	5	5	4	10
2-2. ソーシャルキャピタル	3	3	3	4	10
2-3. まちのにぎわい	6	6	7	7	10
2-4. ポピュレーション戦略 とコミュニティ推進	8	9	9	9	10
3. SWC インフラ：施策が直接的に影響する指標					
3-1. 健康に影響する都市環境	6	6	6	7	9
3-2. 公共交通	6	6	7	8	9
3-3. SWC 推進体制と無関心層 への対策	7	8	8	9	10

※評価点の見込み

見附市では長期的に総合施策として健幸都市づくりを実施しており、2019年7月にSDGs未来都市（31自治体）・「自治体SDGsモデル事業（10自治体）」に選出されました。SWC施策の長期的な取り組みの成果により、「ソーシャルキャピタル」、「健康に影響する都市環境」、「公共交通」「SWC 推進体制と無関心層への対策」といったまちづくりに関する評価項目やそれを担う人材力への加点がされています。健幸都市としての成熟のプロセスに入っていることが示唆され、介護予防や健康づくりへの波及効果も期待され、今後「からだの状況とライフスタイル」の評価点向上も見込まれます。